

ヨリドリMinato



港区で地域のために活動している“たより”になる人の紹介や地域のお勧めの場所“よりどころ”など“ヨリドリミドリ”な情報を港区社協の生活支援コーディネーターがお届けします！



リコーダーサークル
チュリップ

活動内容

リコーダーサークル「チュリップ」は、活動を始めたばかりの音楽グループです。月1回、大阪音楽大学の講師に指導してもらい、童謡や歌謡曲など親しみやすい曲を練習しています。演奏未経験の方も気軽に参加できる機会を提供しています。また、区内の高齢者施設でも演奏を披露しています。

音でつながる“笑顔”のハーモニー

「チュリップ」は、社会福祉協議会が主催したリコーダー講座の受講者を中心に立ち上げられました。メンバーの多くは楽器に触れるのが初めて。最初は、子どもやお孫さんが使っていたリコーダーを手に、「指はどう押さえるんだっけ？」というところからのスタートでした。それでも少しずつ音が出るようになり、仲間と一緒に吹くうちに、音を合わせる楽しさや、できるようになる喜びを感じながら、自然と仲間同士のきずなが深まりました。

グループ名「チュリップ」には、“鳥のさえずり”のように、さわやかでやさしい音を届けたい—そんな思いが込められています。家族介護支援事業「わがまち音楽会」では、区民ホールのステージで講師と心をひとつにし、リコーダーの音色を響かせました。その音は会場いっぱいに広がり、多くの区民に生の音楽のぬくもりと感動を届けました。これからも「チュリップ」は、音楽を通して地域とつながり、笑顔のハーモニーを広げていきます♪



定例会での講師による指導



演奏会での晴れ舞台！



みなとくの ヨリどころ

港区で居心地の良い居場所を紹介します！

大阪市立
港図書館



本を通して広がる
笑顔の輪

大阪市立港図書館は、子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄れる地域の憩いの場です。静かに読書を楽しむだけでなく、人とつながりを感じられる催しも多く開催されています。

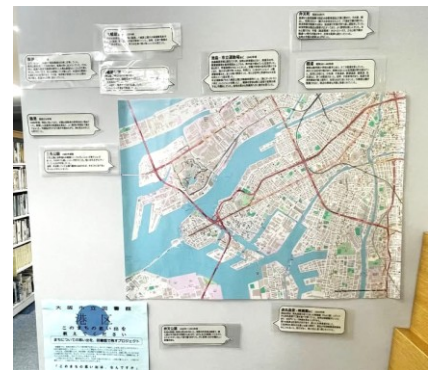
今年8月には港区社会福祉協議会と共催で「本のポップづくり講座」が開かれました。参加者はお気に入りの本を持ち寄り、はがきサイズの台紙におすすめポイントやイラストを描きました。

参加者同士で意見を交わしながら作業を進めるうちに会話が弾み、自然に交流の輪が広がりました。参加者の一人は「初めて会った方とも本の話で自然に仲良くなれました」と笑顔で語りました。



参加者と個性豊かな「ポップ」作品

地域の思い出を 次の世代へつなぐ



「思い出のこし」事業の展示

大阪市の図書館では、地域の記憶を次世代へ残す取り組みとして「思い出のこし」事業を実施しています。

子どもの頃に遊んだ公園や駄菓子屋、仕事帰りに立ち寄った喫茶店など、身近な思い出を市民から寄せてもらい、記録に残し保存しています。寄せられた思い出は、館内で展示したり、ホームページでも公開しています。

こうした取り組みを通して、多くの人が地域への愛着を深める契機ともなっています。地域の歴史や人々の暮らしを広く共有し、未来へつなぐ活動となっています。

本と人が出会う 架け橋の場



ワークショップでの思い出の聞き取り

港図書館の松岡館長は、「図書館は、本を借りて読むほかに、地域の人々が集う交流の場にもなっています。本と人、人と人との『出会う場』として港図書館を活用していただければと思います」と話します。

港図書館は、本をきっかけに人が出会い、思い出が重なる地域の「架け橋の場」です。

大阪市立港図書館

場所：磯路1-7-17
「港区土地区画整理
記念・交流会館」4階

休館日：
月曜日・第3木曜日

※その他の休館日は
開館カレンダーを
ご確認ください。

